

認定こども園 多賀台保育園 自己点検・自己評価

令和2年度

『1』 = たいへん良い
『2』 = 良い
『3』 = 検討・改善を要す

《 教育・保育の計画の編成と実施に関する評価 》

項 目	内 容	評 価			意見・改善策
		1	2	3	
理念・方針・目標	目標について	(1)目標の「生命尊重」「正しきを見て絶えず進む」「よき社会人をつくる」に取組んでいる。		○	仏教保育の理念に基づき、自然や大地の恵みによって生かされていることを知り、子ども一人ひとりの個性を大切に保育活動を重ねていきたい。
		(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしている。	○		
		(3) 目標は、前年度の反省を生かしている。		○	
		(4) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。		○	
	教育・保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成している。	○		個々の成長に合わせた保育・教育への工夫をし、子ども達の創造性を育む環境作りを積極的に行いたい。
		(2)教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っている。	○		
		(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している。	○		
		(4)素材・用具を適切に活用している。	○		
		(5)評価結果を基に、保育の改善に努めている。		○	
	日時程	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい。		○	コロナウイルス感染防止の為、保護者の参加して頂ける行事は制限せざるを得ない状況ですが、縮小しながらも子ども達の学びの場は出来る限りなくさないよう工夫し、行事を開催出来ました。
	行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切である。		○	
		(2) 行事の狙いを計画や実施に十分生かしている。	○		
		(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。	○		
		(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっている。		○	
		(5)保護者の願いや意見を取り入れている。		○	

《 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価 》

項 目	内 容	評 価			意見・改善策
		1	2	3	
経営・組織	体制	(1)能率的・合理的な運営組織になっているか。		○	職員同士のコミュニケーションが良く、協力し合いながら良く出来たと思います。
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○		
		(3)職員の配置は適材・適所か。	○		
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○		
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○		どのような事もしっかり確認することで、園全体の雰囲気明るく保つことが出来るので、更に徹底したい。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○		
		(3)打合わせ回数・時間・内容は適切か。		○	
	年齢別・クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○		今年度も職員一同大変良く頑張ってくれた。
		(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して別設定しているか。	○		
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○		
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○		
		(5)評価・資料(諸記録)を集積しているか。	○		

経営・組織	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○	感染防止対策を講じながらの活動となった為、例年通りとはいかず、来年度は地域との活動が再開できる事を願っています。	
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○		
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		
研究・研修	園内研修・研究	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○	研修のほとんどが中止だった為、園内研修の充実を図らなければならないと思う。	
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。				○
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○		
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○		
	園外研修・研究	(1)各種研究会・研修会・講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○	研修の中止が続いている為、再開を願っている。	
		(2)各種研究会・研修会・講習会での内容を所内に研修還元しているか。		○		
情報について		(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○		特に問題なく出来ていると思うが、データ漏洩には充分注意したいと思う。	
		(2)公文書收受・発送・処理を適切に行っているか。	○			
		(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○			
施設・設備		(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○	施設の老朽化が進んでいるため、各所修繕はしているが、外壁等の大きな修繕は出来ていないので良い方法を探っています。	
		(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○		
		(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○		
		(4)掲示板・掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○		
出納・経理		(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○		出来ている。	
開かれた保育園づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。	○		コロナウイルス感染症の拡大により、ほとんどの交流は出来なかった。	
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)開設幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○		
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○		
	家庭地域社会との連携	(1)参観日・老人ホーム慰問等を行っているか。		○	来年度は地域との交流が出来ることを願っている。	
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○		
		(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		
	情報の発信	(1)保育園だより・クラス通信・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○	地域への情報発信の機会を増やしたい。	
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設に周知している。		○		
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○	第三者評価を検討したい。
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○		

乳児期の園児の保育・自己チェック

【主幹保育教諭】 神山 さい子

領域	内 容	4月～9月 平均			10月～3月 平均			まとめ
		十分援助・ 指導した	援助・ 指導した	援助・指導 できなかった	十分援助・ 指導した	援助・ 指導した	援助・指導 できなかった	
健やかに伸び伸びと育つ	①保育者等の感情豊かな受容の下で、生理的・心理的欲求を満たし、心地よく生活をする。	1	1		1	1		・月齢に合わせて、伸びのびと活動できるよう保育にとり入れることができた。 ・丁寧に繰り返し教えたり声かけること生活リズムを整えることができた
	②一人一人の発達に応じて、はう、立つ、歩くなど、十分に体を動かす。	1	1		1	1		
	③個人差に応じて授乳を行い、離乳を進めていく中で、様々な食品に少しずつ慣れ、食べる事を楽しむ。	2			1	1		
	④一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。	1	1		2			
	⑤おむつ交換や衣服の着脱などを通して、清潔になることの心地よさを感じる。	2			2			
身近な人と気持ちを通じ合う	①園児の発達を踏まえた、応答的な触れ合いや言葉掛けによって、欲求が満たされ、安定感をもって過ごす。		2		2			・保育者が常に子どもの姿を把握しすぐ対応できるよう心がけた ・ゆっくり時間をかけて子どもの信頼関係を築くことができた
	②体の動きや表情、発声、喃語等を優しく受け止めてもらい、保育者等とのやり取りを楽しむ。	1	1		2			
	③生活や遊びの中で、自分の身近な人の存在に気づき、親しみの気持ちを表す。		2		1	1		
	④保育者等による語り掛けや歌い掛け、発声や喃語等への応答を通じて、言葉の理解や発語の意欲が育つ。	2			1	1		
	⑤温かく、受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。		2			2		
身近なものと関わり感性が育つ	①身近な生活用具、玩具や絵本などが用意された中で、身の回りのものに対する興味や好奇心をもつ。		2		1	1		・危険がないよう見守りながら十分歩行が楽しめるようにした。 ・おもちゃを使って叩いたり打ったり音を出すことができるようになり一緒に喜んで遊ぶことができた
	②生活や遊びの中で様々なものに触れ、音、形、色、手触りなどに気づき、感覚の働きを豊かにする。	1	1			2		
	③保育者等と一緒に様々な色彩や形のものや絵本などを見る。		2		1	1		
	④玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど、手や指を使って遊ぶ。	1	1		2			
	⑤保育者等のあやし遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しんだりする。	2			2			

満1歳以上満3歳未満の園児の保育・自己チェック

【主幹保育教諭】 神山 さい子



領域	内 容	4月～9月 平均			10月～3月 平均			まとめ
		十分援助・指導した	援助・指導した	援助・指導できなかった	十分援助・指導した	援助・指導した	援助・指導できなかった	
健康	①保育者等の愛情豊かな受容の下で、安定感をもって生活する。		5		5			制作や行事の練習の合間にもと伸び伸びとアト遊びができれば良かったと思う。衣服の着脱は繰り返し指導することができた。 食が進まない子が多かったのが完全食への移行に精一杯でゆったりとした楽しい雰囲気作りができていなかった。
	②食事や午睡、遊びと休息など、園生活のリズムが形成される。	2	3		3	2		
	③走る、飛ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。	1	3	1	1	4		
	④様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気の中で食事や間食を楽しむ。		5		5			
	⑤身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身に付く。	2	3		1	4		
	⑥保育者等の助けを借りながら、衣類の着脱を自分でしようとする。	2	3		3	2		
	⑦便器での排泄に慣れ、自分で排泄ができるようになる。	1	4		2	3		
人間関係	①保育者等や周囲の子ども等との安定した関係の中で、共に過ごす心地よさを感じる。	2	3		2	3		クラスの子とも達 みんなと関わり遊ぶことができた。時に1人だけ手や口を出してしまい ひっかいたり噛んだり 居ることが多かった。 子ども同士のトラブルと見のかさないよう気づけ、仲立ちをすること、友達との関わりと身に付けさせることができた。
	②保育者等の受容的・応答的な関わりの中で、欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす。	2	3		2	3		
	③身の回りに様々な人がいることに気づき、徐々に他の子どもと関わりをもつて遊ぶ。	2	3		3	2		
	④保育者等の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方を少しずつ身に付ける。	2	3					
	⑤園生活の仕方に慣れ、きまりがあることや、その大切さに気付く。	1	3	1	3	2		
	⑥生活や遊びの中で、年長児や保育者等の真似をしたり、ごっこ遊びを楽しんだりする。	2	3		3	2		
環境	①安全で活動しやすい環境での探索活動等を通して、見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。	1	3	1	2	3		絵本やカード等を通して動物や色などリソのつ 教えることができた。 アト遊びや園外保育が十分できなかった 動物植物に関心を抱けるように配慮を必要とした。 歌や手遊びをたくさん教える楽しませることができた。
	②玩具、絵本、遊具などに興味をもち、それらを使った遊びを楽しむ。	2	3		3	2		
	③身の回りの物に触れる中で、形、色、大きさ、量などの物の性質や仕組みに気付く。	3	2		4	1		
	④自分の物と人の物の区別や、場所的感覚など、環境を捉える感覚が育つ。	1	4		3	2		
	⑤身近な生き物に気づき、親しみをもつ。	1	3	1	1	4		
	⑥近隣の生活や季節の行事などに興味や関心をもつ。		4	1		5		
言葉	①保育者等の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとする。	2	3		2	3		遊びの中で言葉のやりとりをし会話を楽しめることができた。また自分の気持ちを言葉で伝えるよう指導できた。 絵本を読んで内容を理解し楽しむことができた。 季節の歌や手遊びを通して楽しく言葉に親しむことができた。 子どもの言葉の成長につなげるよう保育者は遊びや言葉がけを工夫している。
	②生活に必要な簡単な言葉に気づき、聞き分ける。	2	3		3	2		
	③親しみをもって日常の挨拶に応じる。	3	2		4	1		
	④絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣をしたりして遊ぶ。	1	4		3	2		
	⑤保育者とごっこ遊びをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。	3	2		3	2		
	⑥保育者等を仲立ちとして、生活や遊びの中で友達との言葉のやり取りを楽しむ。	1	4		1	4		
	⑦保育者等や友達の言葉や話に興味や関心をもって、聞いた、話したりする。	1	4		1	4		
表現	①水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。		4	1		5		子ども達の前で歌が歌える歌や手遊びをもっと増やしたい。 シールはり、お絵描き等通して自由に表現することができた。また小麦粉粘土など素材に馴染み 楽しむ機会を持つことができた。 楽器に触れたりリズム遊びとある機会がなかった。
	②音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。	1	4		3	2		
	③生活の中で様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。		4	1		5		
	④歌を歌ったり、簡単な手遊びや全身を使う遊びを楽しんだりする。	3	2		2	3		
	⑤保育者等からの話や、生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにする。		5		1	4		
	⑥生活や遊びの中で、興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現する。	1	3	1	1	4		

満3歳以上の園児の保育・自己チェック

【主幹保育教諭】 神山 さい子



領域	内 容	4月～9月 平均			10月～3月 平均			まとめ
		十分援助・指導した	援助・指導した	援助・指導できなかった	十分援助・指導した	援助・指導した	援助・指導できなかった	
健康	①保育者や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。		5		5			身のまわりの後始末等 声がか け 援助したが 不十分だった。 ・手洗いやうがいにもう少し 力を入れるべきだった ・保育者に自分から意思を 伝えられる子が増えた ・避難訓練や災害時は大 きな声で指示と出るように したい。
	②いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。		5		5			
	③進んで戸外で遊ぶ。		5		4	1		
	④様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。		5	1	4			
	⑤保育者や友達と食べる事を楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。		5		5			
	⑥健康な生活のリズムを身につける。	1	4		1	4		
	⑦身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分で する。	1	4		1	4		
	⑧園生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。		5		1	4		
	⑨自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。		5		5			
	⑩危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて 行動する。		4	1	1	4		
人間関係	①保育者や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。		5		5			・遊びのトラブルも多かった が 保育者が 中立ちとなり 一緒に遊んだり見守るこ とで玩具の貸し借りができ るようになり思いやりの心も 生まれた。 ・遊ぶ前にしーしや約束 事を伝え それを守ろうと する事で友達と楽しく遊 べるようになった。 ・散歩の時など地域の方に 挨拶することによって少しは関 わりを持つことができた
	②自分で考え、自分で行動する。	1	4		1	4		
	③自分でできることは自分でする。	2	3		2	3		
	④いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。		5		5			
	⑤友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。		5		1	4		
	⑥自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。	1	4		1	4		
	⑦友達の下さるに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。		5		5			
	⑧友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなど する。		5		5			
	⑨よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。	1	4		1	4		
	⑩友達との関わりを深め、思いやりをもつ。	1	4		1	4		
	⑪友達と楽しく生活する中でまきりの大切さに気付き、守ろうとする。		5		5			
	⑫共同の道具や用具を大切に、皆で使う。		5					
	⑬高齢者をはじめ地域の人々などの自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみ をもつ。		2	3	2	3		
環境	①自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。		5		1	4		・戸外で身近な動植物に 触れ遊ぶことができた また 朝顔のつやや松ぼろ くりなど 自然の物を使っ て制作することができた ・使用後の玩具を自分で 整理しようとする子が増 えた ・コロナ禍で行事が中止に なる中、子ども達が楽しめ るものと考え実施できたことが 多かった
	②生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。		5		5			
	③季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。		5		5			
	④自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ。		5		5			
	⑤身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切に したりする。		5		5			
	⑥日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。		3	2	4	1		
	⑦身近な物を大切にする。		4	1	1	4		
	⑧身近な物や道具に興味をもって関わり、自分なりに比べたり、関連付けたりしながら 考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。		5		5			
	⑨日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。		5		5			
	⑩日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ。		3	2	5			
	⑪生活に関係の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。		2	3	3	2		
言葉	①保育者や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したり する。		5		1	4		・自分の思いを相手に伝え られるように寄り添い援 助した ・言葉使いに気をつけ指導 できるようにして 子ども達に 「はい。」とすぐ返事ができ る子になるよう指導していく。 ・自分達で話し合い 解決で きるよう促し見守った。
	②したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現 する。		5		1	4		
	③したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。	1	4		1	4		
	④人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。		4	1	1	4		
	⑤生活の中で必要な言葉が分かり、使う。		4	1	1	4		
	⑥親しみをもって日常の挨拶をする。	1	4		1	4		
	⑦生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。		5		5			
	⑧いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。		5		5			
	⑨絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。	1	4		4	1		
	⑩日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。		4	1	5			
表現	①生活の中で様々な音、形、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして 楽しむ。		5		5			・運動会やお遊戯会と 通して楽器を演奏すること の楽しさと味わう事ができた 普段から歌やリズムに 親しめるようにしたい。 ・自由制作を取り入れる事 で色々な素材に触れ 創造力が豊かになった
	②生活の中で美しい物や心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。		3	2	5			
	③様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。		5		5			
	④感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったり などする。		5		1	4		
	⑤いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。		5		1	4		
	⑥音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。		4	1	1	3	1	
	⑦かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。		5		1	3	1	
	⑧自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを 味わう。		4	1	4	1		